

二年学年末テストを振り返って

2015/2/27

国語 「漢詩」の問題が大変良くできていました。漢詩の学習は三年生の教科書では出てきませんが、資料集に掲載されている白居易はくきよいや王維おういの「七言絶句」「七言律詩」も読んでおきましょう。特に白居易は平安時代の日本人のバイブルでしたから。「文法の学習」では、次に「助動詞・助詞」の学習をします。これは、三年生の1学期中間テストに出題します。引き続き、文法の学習を頑張ってください。

数学 「5章：図形の性質と証明」では、角度を求める問題は多くの方が正解することができていました。しかし、合同条件や平行四辺形になる条件などをきちんと覚えることができずにいる人がいます。3年生も図形分野で覚えることがどんどん増えていくので、ここまでの内容を再確認しておきましょう。また、文字式や連立方程式の計算の練習が不足している人が多くいます。何のために家庭学習ノートに計算問題をやっているのかを考えましょう。高校入試でも計算は必ず出ますので、日頃の練習をおろそかにしないようにしましょう。3月は3年生に向けて復習をたくさん行える大事な時期です。少しでも多く学習をして、良い形で2年生を締めくくりましょう。

社会 最後の学年末テストでは、良い結果を残せた人が多かったように思います。さらに加点をするために、ポイントを記しておきます。文章記述問題では、語尾が不十分な解答がとて多く見受けられました。質問に対する語尾について、もう一度自分の解答を確認しましょう。また、正しいもの誤っているものを複数選ぶ問題、時代順にできごとを並べ替える問題はあまり出来がよくありません。教科書の重要事項の流れ、ポイントをおさえた復習でのまとめ直しをしていくようにしてください。まずは、これまで学んできた内容を総点検し、3年生に備えましょう。始めるなら今からです。

理科 「分からないな。」「不思議だな。」「なんでだろう。」といった疑問を解決する努力をテスト前にどれくらいしたでしょうか。今回のテスト範囲である、電気分野に苦手意識をもつ人は少なくありません。その中でも、質問をしたり、問題をたくさん解いたりして理解しようと努力をした人がいます。その人たちは、確実に力を伸ばすことができています。難しいからといって見ないふりをしてしまっっては、絶対に力にはなりません。みなさんには、“分からないことが悔しい！”という気持ちをもって、学習に取り組んでほしいと思います。まずは、テストで間違えたところは必ずやり直しをしましょう。その上で分からないところはぜひ、質問に来てください。そこから始めてみてください。

英語 今回のテストでは、文法を中心となった「比較級」の学習や、2年生の復習をしっかりと行い理解できている人が多かったです。今後も一つ一つ文法を押さえていって下さい。一方で、**問10**のような質問文に対して代名詞で答えることに慣れていない様子が見受けられました。来年度は受験生となります。初めて読む長文に対しても取り組めるような問題慣れも必要になってきます。

保健体育 今回のテストは全体的に点数がとれていませんでした。そして、漢字間違いや、問題文をきちんと読んでいないがために起こったイージーミスがほとんどです。入試に向けて、まず、しっかりと問題文を読んだから問題を解くことを心がけましょう。

技術科 今回のテストでは、選択問題ののこぎりや、かんなの各部の名称などについてはよくできていました。しかし、記述問題に関しては全体的にできていませんでした。記述問題はほとんどが1・2学期の復習でしたが、前回と同じような間違いをしている人もいました。教科書をよく読んで復習しておきましょう。

家庭科 今回は学年末テストなので復習問題も出しましたが、みんなしっかりできていたと思いました。「住生活に関して」の記述問題でケアレスミスが目立ち残念に思いました。家庭科は身近な内容が多々あるので、自分の生活に関連して学習してくれると嬉しいです。3年生に進級するに当たって、1・2年生の内容もしっかり復習しておくといいと思います。今の学習意欲が続くことを期待しています。

雪うるわに耐えて梅花麗し 霜ふうようあかを経て楓葉丹し

西郷隆盛が甥のアメリカ留学に際して贈った漢詩の一説に「耐雪梅花麗（雪に耐えて梅花麗し）」「経霜紅葉丹（霜を経て楓葉丹し）」という句があります。「梅の花は、寒い冬を耐え忍び、春になれば麗しく咲く」「楓の葉は、骨に徹するほどの冷たい厳しい霜を被って、真赤に紅葉する」という意味です。つまり「苦しみなくして栄光なし」ということです。

いよいよ四月からは三年生。自分の学習への向かい方を今一度省みて、新たに自分の課題を確かめて一歩ずつ着実に前に進んでほしいと思います。